

第1日 3月29日(土) 9:00~10:30

時間	A会場 3A403 果樹 I	B会場 3A404 果樹 II	C会場 3A416 果樹 III	D会場 3A204 野菜 I	E会場 3A209 野菜 II
9:00	<p>遺伝育種 (カンキツ) 尾形 凡生</p> <p>果001 カンキツのコレヒチン処理で得られた四倍体および2x-4x倍数性キメラの果実および花粉の特性 ○柳本 裕子・金好 純子・古田 貴音・川崎 陽一郎・塩田 勝紀 (広島総研農技セ)</p>	<p>マーカー・遺伝子解析 (リンゴ・オウトウ・カンキツ) 山根 久代</p> <p>果025 リンゴの果汁褐変および果実酸含量に関する QTL のファインマッピングとマーカー選抜 ○森本 拓也・大西 弘法・伴野 潔 (信州大農学部)</p>	<p>放射性物質 金山 喜則</p> <p>果046 ニホンナシ果実への拮抗陽イオン施用が可食部への放射性セシウム移行に及ぼす影響 ○飛田 良憲・高橋 是成・東尾 久雄・井上 栄一 (茨城大農学部)</p>	<p>栽培 (トマト) 彦坂 晶子</p> <p>野001 実需者が求めるトマト品種の生育・収量と果実品質について ○小西 信幸・磯崎 真英・太田 雄也・鈴木 賢 (三重農研)</p>	<p>遺伝資源 (トウガラシ) 松島 憲一</p> <p>野022 カリブ海在来トウガラシ 'No.80' (Capsicum chinense) における非辛味性、香りおよび来歴の解析 ○小枝 壮太¹・佐藤 恒亮¹・富研²・田中 義行³・滝澤 理仁¹・細川 宗孝¹・土井 元章¹・中崎 鉄也¹・北島 宣¹ (¹京都大院農学研究科, ²近畿大農学部, ³岡山大院環境生命科学研究所)</p>
9:15	<p>果002 ハナネとグレープフルーツの後代に出現するアルビノの遺伝 ○若菜 章・酒井 かおり・梶原 康平 (九州大院農学研究院)</p>	<p>果026 オウトウ自家不和合性遺伝子 (S 遺伝子) の高精度判定技術の確立 ○高橋 由信¹・山本 俊哉²・安達 達介¹・野口 協一¹ (¹山形農総研セ園試, ²農研機構果樹研)</p>	<p>果047 カキ '蜂屋' の葉、果実および樹皮中 137Cs 濃度の経年推移に及ぼす除染の影響 ○阿部 和博¹・佐藤 守¹・湯田 美菜子¹・瀧田 克典¹・大野 剛²・菊永 英寿³・大槻 勤⁴・村松 康行² (¹福島県農総セ果樹研, ²学習院大理学部, ³東北大電子光セ, ⁴京大原子炉)</p>	<p>野002 促成栽培における高精度トマト生産のための土壌水分管理 ○井上 勝広 (長崎農林技開セ)</p>	<p>野023 'No.3341' (Capsicum chinense) の非辛味性と Comt の欠損変異との関係性 小枝 壮太¹・佐藤 恒亮¹・滝澤 理仁¹・細川 宗孝¹・土井 元章¹・北島 宣 (京都大院農学研究科)</p>
9:30	<p>遺伝育種 (リンゴ・ニホンナシ・クリ) 小森 貞男</p> <p>果003 リンゴ新品種「シナノホッペ」 ○金丸 京平¹・前島 勲¹・小松 宏光¹・白田 彰³・羽生田 忠敬³・島津 忠昭² (¹長野果樹試, ²*長野南信試, ³**退職)</p>	<p>果027 ゲノムワイド SSR マーカー分析によるカラタチおよび関連系統の類似関係の推定 ○清水 徳朗¹・吉岡 照高¹・喜多 正幸²・太田 智¹ (¹農研機構果樹研, ²農林水産技術会談事務局)</p>	<p>果048 果樹の葉および果実中の 137Cs 濃度の経年推移のモデル化 ○湯田 美菜子¹・佐藤 守¹・阿部 和博¹・額田 光彦¹・斎藤 祐一¹・赤井 広子¹・瀧田 克典¹・滝田 雄基¹・高瀬 つぎ子⁵・河津 賢澄⁵・高田 大輔⁴・田野井 慶太郎⁴・大野 剛²・菊永 英寿³・大槻 勤⁶・村松 康行² (¹福島農総セ果樹研, ²学習院大理学部, ³東北大電子光セ, ⁴東京大院農学生命科学研究科, ⁵福島大理工類, ⁶京大原子炉)</p>	<p>野003 トマト栽培における冬春期の CO2 施用の効果 ○磯崎 真英・太田 雄也・小西 信幸・鈴木 賢 (三重農研)</p>	<p>野024 トウガラシにおける Comt1 および Comt2 のクローニング、発現解析および変異系統の探索 小枝 壮太¹・田中 友理¹・佐藤 恒亮¹・滝澤 理仁¹・北島 宣 (京都大院農学研究科)</p>
9:45	<p>果004 自家和合性ニホンナシ新品種 '新月', '新王' ○松本 辰也・野水 利和・根津 潔 (新潟農総研園研セ)</p>	<p>果028 カンキツ FLOWERING LOCUS T を指標にした着花予測技術の開発 第一報 晩生ワンジュミカンにおける秋季のカンキツ FT 発現量と翌春の着花数との関連解析 ○西川 美美恵・岩崎 光徳・深町 浩・遠藤 朋子 (農研機構果樹研)</p>	<p>ニホンナシ 1 西川 祐司</p> <p>果049 施肥量およびカルシウム散布がニホンナシ 'あきづき' の果肉障害の発生に及ぼす影響 ○島田 智人¹・片野 敏夫¹・大庭 恵美子¹・井上 弘道²・羽山 裕子² (¹埼玉農総研セ園研, ²農研機構果樹研)</p>	<p>野004 液化炭酸ガス酸化方式による CO2 施用方法およびその効果 ○太田 雄也¹・増田 実²・磯崎 真英¹・小西 信幸¹・鈴木 賢¹ (¹三重農研, ²三重県桑名地域農改普及セ)</p>	<p>野025 南米原産のトウガラシ Capsicum baccatum における果実形態および辛味性の評価 ○原 一仁¹・田中 義行¹・安場 健一郎¹・後藤 丹十郎¹・吉田 裕一 (岡山大院環境生命科学研究所)</p>
10:00	<p>果005 長期 (40年間) 保存したニホンナシ花粉の発芽・受精能力 ○山本 雅史¹・東 明宏²・高田 教臣³・川田原 智之²・坂上 陽美²・島田 温史¹・大村 三男^{3,4}・岩井 純夫¹・富永 茂人¹・小崎 格^{1,3} (¹鹿児島大農学部, ²鹿児島農総セ, ³農研機構果樹研, ⁴静岡大農学部)</p>	<p>マーカー・遺伝子解析 (ブドウ・ニホンナシ) 白武 勝裕</p> <p>果029 ブドウ果皮のアントシアニン組成と着色遺伝子座の MYB ハプロタイプの遺伝関係 ○東 暁史¹・伴 雄介¹・佐藤 明彦¹・河野 淳¹・尾上 典之¹・杉浦 裕義¹・山崎 安津¹・薬師寺 博 (農研機構果樹研)</p>	<p>果050 ニホンナシ 'あきづき' '王秋' の果肉障害発生に及ぼす要因の解析 (第1報) 開花の早晚、シベリン処理、摘心、収穫時期等栽培環境条件の影響 ○三谷 宣仁¹・草場 新之助¹・羽山 裕子¹・山根 崇嘉¹・井上 博道 (農研機構果樹研)</p>	<p>栽培・生理等 (トマト) 磯崎 真英</p> <p>野005 ホルククロルフェニエロン¹の果房散布時期および濃度が雨除け栽培トマトの放射状裂果の発生に及ぼす影響 ○佐野 大樹¹・久保 紀子^{1,2}・飛川 光治¹ (¹岡山農研, ²岡山県東備農普セ)</p>	<p>育種・遺伝資源 (トウガラシ) 小枝 壮太</p> <p>野026 トウガラシにおけるカプサイシン合成・蓄積を決定する制御因子の解析 ○小川 佳奈¹・増田 税 (北海道大院農学研究科)</p>
10:15	<p>果006 集団構造と親子解析からみたニホンナシ在来品種の伝播 ○西尾 聡悟¹・池谷 祐幸¹・藤井 浩¹・山本 俊哉¹・寺上 伸吾¹・高田 教臣¹・齋藤 寿広 (農研機構果樹研)</p>	<p>果030 ナシ品種 '大原紅' における果実成熟の早晚に関する QTL 解析 ○進藤 明広¹・中根 基貴¹・稲岡 麻衣亜¹・伴野 潔 (信州大農学部)</p>	<p>果051 ニホンナシ 'あきづき' '王秋' の果肉障害発生に及ぼす要因の解析 (第2報) 夏季の水分ストレスが果肉障害発生に及ぼす影響 ○草場 新之助¹・羽山 裕子¹・三谷 宣仁¹・山根 崇嘉¹・井上 博道 (農研機構果樹研)</p>	<p>野006 夏秋トマトの袋利用栽培における培地量・袋資材の違いが収量・品質に及ぼす影響 ○大地 有城¹・二又 友紀¹・石原 陽平¹・入船 浩平¹・甲村 浩之 (県立広島大生命環境学部)</p>	<p>野027 DNA 多型解析による日本の在来トウガラシ品種の類似関係 ○松島 憲一¹・伊藤 卓也^{1,2}・根本 和洋¹・南崎 夫¹・北村 和也^{1,3} (¹信州大院農学研究科, ²内堀醸造 (株), ³名果 (株))</p>

F会場 3A203 野菜 III	G会場 3A207 野菜 IV	H会場 3A304 花き I	I会場 3A312 花き II	K会場 3A202 利用 I	時間
<p>施肥・病害虫等(タマネギ) 武田 悟</p> <p>野 045 春まきタマネギ栽培における 基肥施用量および追肥時期が 収量と全窒素含有量に与える 影響 ○伊藤 聡子・後藤 佳奈・ 古野 伸典・伊藤 政憲(山 形県庄内農産普及地研)</p>	<p>植物工場(葉菜類) 寺林 敏</p> <p>野 065 人工光型植物工場のハクサイ 栽培におけるチップバーンの 発生時期 ○大塩 貴寛¹・下山 真人²・ 溝田 陽子²・末田 香恵²・ 丸尾 達³(¹千葉大環境健 康フィールド科学セ,²(株) 大林組技術研究所,³千葉 大院園芸学研究所)</p>	<p>開花生理, 栽培・作型 岩崎 勇次郎</p> <p>花 001 アジサイの切り花用品種の吸 枝における花芽分化様相と開 花期 北村 嘉邦・下山 光太郎・ ○服部 哲也(信州大農学部)</p>	<p>収穫後生理 乗越 亮</p> <p>花 018 機能性段ボールによるキク切 り花の長期保管の検討 ○湯本 弘子¹・木村 幹夫² (¹農研機構花き研,²(株) カナエ紙工)</p>	<p>トマト成熟・エチレン 中野 龍平</p> <p>利 001 トマト果実の成熟に関わる MADS ボックス転写因子の高 次複合体形成モデル ○嶋 羊子¹・藤澤 雅樹¹・ 北川 麻美子²・金原 淳司²・ 中野 年継¹・伊藤 康博¹ (¹農研機構食総研,²カゴ メ総研)</p>	9:00
<p>野 046 タマネギ紅色根腐病菌のタマ ネギ苗への接種による生育抑 制とその品種系統間差異 ○前川 健二郎¹・森 尚久¹・ 児玉 不二雄²(¹ホクレン 農総研,²(社)北海道植防)</p>	<p>野 066 人工光型植物工場における光 源の違いがハクサイのチップ バーンに及ぼす影響 ○下山 真人¹・溝田 陽子¹・ 末田 香恵¹・久保 啓治²・ 大塩 貴寛³・丸尾 達⁴ (¹(株)大林組技術研究所, ²(株)大林組技術本部ビジ ネスイノベーション室,³千 葉大環境健康フィールド科 学セ,⁴千葉大院園芸学研 究科)</p>	<p>花 002 光質の異なる LED 電球を用 いた終夜照明が草花類の生育 と切り花形質に及ぼす影響 ○近藤 孝治・谷川 孝弘・ 國武 利浩・中村 知佐子・ 横枕 真季・松野 孝敏(福 岡農総誌)</p>	<p>花 019 エテホンと 6-ベンジルアミ ノプリンを用いた前処理およ びグルコースと抗菌剤を用い た後処理の併用がチューリッ プ切り花の品質保持に及ぼす 影響 ○渡邊 祐輔^{1,2}・宮島 利功¹・ 野水 利和¹・中野 優³・市 村 一雄⁴(¹新潟農総研園研 セ,²新潟大院自然科学研究 科,³新潟大農学部,⁴農研機 構花き研)</p>	<p>利 002 トマト果実追熟にシステム 1 エチレンは必要か ○森 仁志¹・中北 東耶¹・ 永田 雅靖²(¹名大院生命農 学研究所,²農研機構野菜茶 研)</p>	9:15
<p>野 047 北海道におけるタマネギ黒し み症状と発生機作の解明 ○山本 俊治^{1,3}・庄子 隆之¹・ 小野寺 政行²・柳田 大介² (¹JA きたみらい,²北海道北 見農試,³北海道網走農改セ)</p>	<p>野 067 LED 照明を用いた生長促進条 件下におけるサンチュのチップ バーン発生に及ぼす培養液 中無機成分の影響 ○秋間 和広¹・宮坂 裕司¹・ 荒井 みち代²・渡邊 博之³ (¹シーシーエス(株),²玉 川大学術研究所,³玉川大院 農学研究科)</p>	<p>花 003 再電照が夏秋小ギクの花蕾数 に及ぼす影響 ○森 義雄^{1,3}・住友 克彦²・ 久松 完²・後藤 丹十郎³ (¹岡山農研,²農研機構花き 研,³岡山大院環境生命科学 研究科)</p>	<p>花 020 ブルースター花弁老化の指標 である退色と萎凋の誘導は異 なる制御を受けている ○市村 一雄・Pun, Umed K. 仁木 朋子・湯本 弘子・中 山 真義(農研機構花き研)</p>	<p>利 003 傷害ストレス、接触刺激など による植物からのエチレン生 成において脂質酸化物と Fe²⁺ は重要な役割を果たしている ○石井 孝昭¹・堀井 幸江¹・ 猪花 宏行²(¹京都府大院生 命環境科学研究所,²京都府 大生命環境学部)</p>	9:30
<p>野 048 産地・品種の違いがタマネギ の成分に与える影響のメタボ ローム解析 ○木村 祐太・岡崎 圭毅・ 室 崇人(農研機構北農研)</p>	<p>野 068 連続照明条件下における光質 の違いが数種葉菜類の形態と 生育に及ぼす影響 ○水瀬 亮太¹・松倉 千昭²・ 江面 浩²・福田 直也²(¹筑 波大院生命環境科学研究所, ²筑波大生命環境系)</p>	<p>栽培・作型 牛尾 亜由子</p> <p>花 004 高温期における暗期の冷房時 間帯がバラの開花に及ぼす影 響 ○梶原 真二¹・石倉 聡¹・ 福島 啓吾¹・道園 美弦²・ 原田 秀人¹(¹広島総研農技 セ,²農研機構花き研)</p>	<p>花 021 ベンジルアミノプリン溶液の 噴霧処理が湿地性カラー切り 花の花持ちに及ぼす影響 ○海老原 克介¹・加藤 美紀²・ 種谷 光泰¹・田中 亜紀子³・ 柏崎 佑二⁴・湯本 弘子⁵・ 市村 一雄⁵(¹千葉農林総 研セ暖地園研,²安房農事, ³山武農事,⁴千葉県庁,⁵農 研機構花き研)</p>	<p>利 004 収穫後のエタノール蒸気処理 による、トマト果実追熟制御 機構の解明(第3報)トマト 果実のエチレン反応性に及ぼ す影響 ○永田 優¹・湯浅 高志²・ 野村 啓一¹・鈴木 康生¹ (¹神戸大院農学研究所,² ²宮崎大院農学研究所)</p>	9:45
<p>栽培生理・成分(ネギ等) 山崎 博子</p> <p>野 049 ネギ苗の剪根と剪葉が定植後 の生育、収穫時期および収量 に及ぼす影響 ○本庄 求^{1,2}・武田 悟¹・ 吉田 康徳²・金田 吉弘² (¹秋田農試,²秋田大院生 物資源科学研究所)</p> <p>野 050 ネギの乾物重を定量的に把握 するための簡易な生長モデル ○武田 悟・本庄 求(秋田 農試)</p>	<p>養液栽培(その他) 福田 直也</p> <p>野 069 不織布を用いたニンジン養液 栽培における培養液濃度が根 の生育に及ぼす影響 ○寺林 敏¹・西上 知里¹・奥田 啓太¹・伊達 修一(京都府立 大学)</p> <p>野 070 アーバスキュラー菌根菌と そのパートナー細菌、並び にパートナー植物を用いた 化学液肥および有機液肥の 水耕栽培が数種類の園芸作 物の生育に及ぼす影響 石井 孝昭¹・社納 葵¹・堀井 幸江¹(京都府大院生命環境 科学研究所)</p>	<p>花 005 夏期高温条件下における EOD、EON および終夜冷房 が鉢物マーガレット「サン デーリップル」の生育・開 花に及ぼす影響 ○武藤 貴大¹・岩崎 勇次郎²・ 佐藤 展之¹・道園 美弦² (¹静岡農林技研伊豆農研セ, ²農研機構花き研)</p> <p>花 006 夏季夜間の冷房時間帯がスタ ンダードカーネーションの開 花と切り花形質に及ぼす影響 ○東浦 優¹・岩崎 勇次郎²・ 道園 美弦³・石上 佳次¹・ 小山 佳彦¹(¹兵庫農総セ淡 路,²静岡農林研伊豆農研セ, ³農研機構花き研)</p>	<p>色・香り 谷川 奈津</p> <p>花 022 ユリ野生種の香りに関する研 究(第4報)-Martagon 節のユ リの香気成分の解析 ○大久保 直美¹・大石 勝彦² (¹農研機構花き研,²元神奈 川フラワーセ)</p> <p>花 023 スイートピーの淡黄色花色の 発色を担うカロテノイド色素 の同定 ○柳下 良美^{1,2}・原 靖英¹・ 中山 真義^{2,3}(¹神奈川農技 セ,²筑波大院生命環境科学 研究所,³農研機構花き研)</p>	<p>その他 石川 豊</p> <p>利 005 園芸施設におけるドライミ スト技術の応用に関する研究 (3) ~マイトクロナパブル水 利用時の冷却性能の分析~ ○原田 昌幸¹・杉山 剛²・ 松古 浩樹³(¹名古屋市立大, ²なごみスト設計,³岐阜農 技セ)</p>	10:00
				<p>利 006 人工光型植物工場における電 力消費量の実態調査 ○久保 啓治¹・平田 和也¹・ 下山 真人¹・関山 哲雄²・ 大塩 貴寛²・丸尾 達³(¹(株) 大林組,²千葉大環境健康 フィールド科学セ,³千葉大 院園芸学研究所)</p>	10:15

第1日 3月29日(土) 10:30~12:00

時間	A会場 3A403 果樹 I	B会場 3A404 果樹 II	C会場 3A416 果樹 III	D会場 3A204 野菜 I	E会場 3A209 野菜 II
10:30	<p>ブドウ 1 河野 淳</p> <p>果 007 ブドウの炭疽菌感染とジャスモン酸との関連 ○王 珊珊¹・池浦 博美²・大川 克哉¹・小原 均¹・穴戸 雅宏¹・近藤 悟¹(¹千葉大院園芸学研究所,²明治大院農学部)</p>	<p>果 031 次世代シーケンサーを用いたトランスクリプトーム解析によるナシ着果制御機構の解明 ○森下 恭行¹・三島 理絵¹・金高 伸吾¹・羽生 剛²・村山 秀樹³・板井 章浩¹(¹鳥取大院農学部,²愛媛大院農学部,³山形大院農学部)</p>	<p>ニホンナシ 2 大谷 義夫</p> <p>果 052 携帯型近赤外分光計を用いた赤ナシ ‘あきづき’ の地色判定 ○中村 ゆり¹・原田 昌幸²・羽山 裕子¹・三谷 宣仁¹・山根 崇嘉¹・草場 新之助¹(¹農研機構果樹研,²千代田電子工業(株))</p>	<p>野 007 トマトのスーパー巨栽培特性に関する研究 地域間差の例として ○甲村 浩之¹・青木 理佐¹・二又 友紀¹・岩崎 美和¹・元木 悟²・北條 怜子²・樋口 洋子²・松永 邦則³・山初 仁志⁴(¹県立広島大生命環境学部,²明治大院農学部,³バイオニアエコサイエンス(株),⁴秋田県横手市実験農場)</p>	<p>野 028 各種トウガラシ素材を用いたサツマイモネコブセンチュウの寄生性評価 ○杉田 亘¹・大山 暁男²・大田 哲史¹・岩堀 英晶³・上杉 謙太³・杉尾 昌嗣¹(¹宮崎総農試,²農研機構野菜茶研,³農研機構九沖農研)</p>
10:45	<p>果 008 温度と日照条件がブドウ ‘クインシーナ’ の着色に及ぼす影響 ○峯村 万貴・泉 克明(長野果樹試)</p>	<p>遺伝子解析(リンゴ) 五十嵐 憲</p> <p>果 032 約培養由来倍加半数体品種 ‘リンゴ中間母本 9SP6’ の交雑 F1 集団の果実形質 ○佐藤 守¹・國久 美由紀⁴・滝田 雄基¹・押野 秀美⁴・寺上 伸吾⁴・西谷 千佳子⁴・山口 奈々子³・岡田 初彦²・山本 俊哉⁴・小森 貞男⁵(¹福島農総セ果樹研,²県北農林伊達普,³会津農林喜多方普,⁴農研機構果樹研,⁵岩手大院農学部)</p>	<p>果 053 ナシ樹体ジョイント仕立て17年生 ‘幸水’ の生育と収量、果実品質 ○柴田 健一郎・曾根田 友暁・小泉 和明・北見 丘・小林 正伸(神奈川農技セ)</p>	<p>野 008 トマト育苗時のカルス発生と水ストレスの影響 ○平林 かなえ(千葉大院園芸学部)</p>	<p>遺伝資源・遺伝子解析(トマト・アブラナ科) 福岡 浩之</p> <p>野 029 ナショナルバイオリソースプロジェクト「トマト」における整備状況と将来の展望 ○星川 健¹・四方 雅仁¹・有泉 亨¹・福田 直也¹・金山 喜則²・久保 康隆³・青木 考⁴・江面 浩¹(¹筑波大生命環境系,²東北大院農学研究所,³岡山大院環境生命科学研究科,⁴大阪府大生命環境科学研究科)</p>
11:00	<p>ブドウ 2 三谷 宣仁</p> <p>果 009 ブドウ ‘シャインマスカット’ における高濃度ジベレリン処理の効果 ○持田 圭介¹・牧 慎也²・山本 裕子²・内田 吉紀¹(¹鳥根農技セ,²新居浜高専)</p>	<p>果 033 約培養由来倍加半数体品種 ‘リンゴ中間母本 9SP6’ を利用した果実形質の QTL 解析 ○國久 美由紀¹・押野 秀美¹・寺上 伸吾¹・西谷 千佳子¹・滝田 雄基²・山口 奈々子³・岡田 初彦²・山本 俊哉²・小森 貞男²・佐藤 守²(¹農研機構果樹研,²福島農総セ果樹研,³会津農林喜多方普,⁴県北農林伊達普,⁵岩手大院農学部)</p>	<p>果 054 大苗と ‘流線型仕立’ によるニホンナシの超早期成園化技術の確立 ○福田 賢二(大分農水産研指セ)</p>	<p>養液栽培(トマト) 甲村 浩之</p> <p>野 009 高糖度トマトの養液栽培における着果、着葉条件が果実重および糖度に及ぼす影響 ○大石 直記(静岡農林技研)</p>	<p>野 030 モデル植物シロイヌナズナ研究材料をアブラナ科野菜研究の虫害防除にどう活かすか? ○安部 洋¹・富高 保弘²・立石 剣³・下田 武志²・津田 新哉^{1,2}・小林 正智¹(¹理研バイオリソースセ,²中央農総研セ,³生資研)</p>
11:15	<p>果 010 ブドウ ‘シャインマスカット’ におけるジベレリン塗布剤の穂軸への塗布が果房品質に及ぼす影響 ○米野 智弥(山形農総研セ)</p>	<p>果 034 リンゴのカラムナー性を制御する Co 遺伝子座領域における挿入変異の同定 ○岡田 和馬¹・森谷 茂樹¹・藤澤 弘子²・呉 健忠²・片寄 裕²・藤井 浩¹・寺上 伸吾¹・山本 俊哉¹・阿部 和幸¹(¹農研機構果樹研,²生資研)</p>	<p>ニホンナシ・クリ 大川 克哉</p> <p>果 055 MR microimaging による果実維管束構造の可視化と定量的評価 ○森脇 聡¹・寺田 康彦¹・巨瀬 勝美¹・拜師 智之²・瀬古 澤 由彦³(¹筑波大院数理工学研究所,²(株)エム・アール・テクノロジー,³筑波大院生命環境科学研究科)</p>	<p>野 010 NET 一段密植栽培における高品質トマト果実生産のための培養液管理法 ○山崎 脩平(千葉大院園芸学部)</p>	<p>野 031 カブにおける UV-B 依存的なアントシアニン合成の MYB4 による制御 李玉花¹・孫 梅^{1,2}・張 麗麗¹・河野 実之²(¹東北林業大生命科学研究科,²東京大院農学生命科学研究科)</p>
11:30	<p>果 011 ブドウ ‘シャインマスカット’ における植物成長調整剤処理方法が果粒の皮ごと食べやすさに及ぼす影響 ○笈田 幸治¹・松井 元子²・大場 将生²・堀越 美邦³・本杉 日野²(¹京都農林水産技セ農林セ丹後特産部,²京都府立大院生命環境科学研究科,³京都府立大生命環境学部)</p>		<p>果 056 ニホンナシ ‘幸水’ の dormancy-associated MADS-box 遺伝子, PpMADS13-1 のシグナル伝達様式について ○齋藤 隆徳^{1,2}・白 松 諭²・今井 剛²・伊東 明子²・中島 育子²・森 卓哉^{1,2}(¹筑波大院生命環境科学研究科,²農研機構果樹研)</p>	<p>野 011 トマト残渣由来の堆肥からの肥料成分の抽出 大塩 貴寛²・丸尾 達³・川島 康平¹(¹千葉大院園芸学部,²千葉大院環境健康フィールド科セ,³千葉大院園芸学研究所)</p>	<p>野 032 ハクサイ市販一代雑種品種 ‘W39’ における雑種強勢関連遺伝子の発現解析 ○佐伯 なつみ¹・川辺 隆大¹・野瀬 笙子¹・阿部 寛史¹・加治 誠³・岡崎 桂一¹・藤本 龍²(¹新潟大院,²神戸大院農学研究所,³(株)渡辺採種場研究部)</p>
11:45	<p>果 012 使用感アンケート調査に基づくブドウ ‘シャインマスカット’ カラーチャートの開発 ○西川 祐司¹・門藤 至宏¹・須川 瞬²・浜名 洋司²・横山 昭常¹(¹広島総研西部工技セ,²広島総研農技セ)</p>		<p>果 057 クリ幼木に対する高畝およびシートマルチの凍害発生抑制効果の検討 ○神尾 真司¹・水田 泰徳²(¹岐阜中山間農研中津川,²兵庫農総研)</p>		

第1日 3月29日(土) 10:30~12:00

F会場 3A203 野菜 III	G会場 3A207 野菜 IV	H会場 3A304 花き I	I会場 3A312 花き II	K会場 3A202 利用 I	時間
<p>野 051 ニラの少量培地耕における培地の種類と培地容量が株再生と収量に及ぼす影響 ○河村 康平 (千葉大園芸学部)</p>	<p>野 071 窒素の施肥量がカラスピシヤタの生育と塊茎収量に及ぼす影響 ○渡辺 麻衣子 (千葉大園芸学部)</p>	<p>栽培・作型、その他 稲本 勝彦 花 007 ヒマワリの生育特性に応じた養水分管理と排水量を指標とした自動灌水装置の開発 ○小幡 彩夏・田旗 裕也・島地 英夫・岡澤 立夫・松浦 里江 (東京農林総研セ)</p>	<p>発育・形態生理 湯本 弘子 花 024 トルコギキョウにおける蕾の発達と開花に伴う花弁細胞の成長と形態変化 ○乗越 亮¹・柴田 武彦¹・小池 安比古¹・市村 一雄² (¹東京農大農学部,²農研機構花き研)</p>	<p>利 007 スペクトル測定を用いたシロイヌナズナの育成評価Ⅲ ○渡邊 絵梨・清水 麻里・小澤 あつみ・永田 典子・今井 元 (日女大理)</p>	10:30
<p>野 052 エゾワサビ葉の高い抗酸化活性と関連するポリフェノール組成 ○阿部 圭馬¹・木戸 重範¹・嘉見 大助²・志村 華子¹・鈴木 卓¹ (¹北海道大院農,²農研機構北海道農研)</p>	<p>栽培 (アスパラガス) I 地子 立 野 072 アスパラガス伏せ込み促成栽培における不織布容器栽培法の適用 ○安西 昭裕¹・河内 博文¹・大西 亮樹¹・奈尾 雅浩¹・成田 周作²・梶山 安史² (¹愛媛農林水産研,²東レ(株))</p>	<p>花 008 トルコギキョウ冬季栽培における二酸化炭素濃度二段階切り替え制御による二酸化炭素日中施用の効果 ○牛尾 亜由子¹・福田 直子¹・岡澤 立夫²・島地 英夫² (¹農研機構花き研,²東京農林総研セ)</p>	<p>花 025 サンダーソニアにおける TTC による種子活性の検討 ○鈴木 瑞穂^{1,2}・居城 幸夫^{1,2} (¹宇都宮大院農学研究科,²宇都宮大農学部付属農場)</p>	<p>利 008 信州大学農学部における「土と緑の体験講座」に関する事例報告 ○東 孝明・杉山 大地・中村 篤・畠中 洸・丸山 悟・齋藤 治 (信州大農学部 AFC)</p>	10:45
<p>栽培・生理 (メロン) 西村 安代 野 053 冬季の温室メロンの糖含量増大に及ぼすシュートヒータのもう一つの役割 ○加納 恭卓¹・鈴木 章文²・市原 毅¹・城戸 達也¹・新宅 恵¹・西岡 一洋³ (¹石川県立大,²愛知県東三河農林水産事務所水産事務所,³Nissy Instruments)</p>	<p>野 073 かがわ型アスパラガス栽培システムでの作業性 ○池内 隆夫 (香川農試)</p>	<p>花 009 トルコギキョウの二度切り栽培における窒素吸収特性 ○田中 博一・藤本 順子 (島根農技セ)</p>		<p>包装・セシウム 元木 悟 利 009 雲田気調整 (MA) 包装フィルム「Xtend」のプロコリーに対する鮮度保持効果 ○野田 智昭¹・加藤 桂一²・林 哲央¹ (¹北海道花・野技セ,²西華産業(株))</p>	11:00
<p>野 054 温室メロンの糖含量に及ぼす果実発育前半期と後半期のシュートヒータの設定温度の影響 ○西岡 一洋¹・田中 孝二郎²・劉 環み²・加納 恭卓³ (¹東京大院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構,²(株)アクトリー,³石川県立大生物資源環境学部)</p>	<p>野 074 秋季外気温がアスパラガス伏せ込み促成栽培用根株の炭水化物蓄積に与える影響 ○二階堂 華那¹・鈴木 卓²・市川 伸次³・河合 孝雄³・荒木 肇³ (¹北海道大院環境科学研究所,²北海道大院農学研究科,³北海道大北方生物圏セ)</p>	<p>花 010 花壇用花苗の屋内利用に向けた廃棄制御素材のポットへの転用 ○岡澤 立夫^{1,2}・節句 田 恵美³・西島 隆明^{2,4} (¹東京農林総研セ,²筑波大院生命環境科学研究科,³(株)トンボ,⁴農研機構花き研セ)</p>		<p>利 010 リンゴ小箱の宅配輸送中の衝撃解析と緩衝包装設計 ○石川 豊¹・北澤 裕明¹・侯 寧波²・佐竹 隆顕² (¹農研機構食総研,²筑波大院生命環境科学研究科)</p>	11:15
<p>野 055 メロンにおける本葉数と果実特性の関係 ○古川 一・和田 光生 (大阪府大院生命環境科学研究科)</p>	<p>野 075 高温処理が晩秋期のアスパラガスの萌芽に及ぼす影響の品種間差 ○山口 貴之^{1,2}・前田 智雄³ (¹岩手農研セ,²岩手大院連合農学研究科,³弘前大院農学生命科学部)</p>			<p>利 011 梅漬けに含まれる放射性セシウムの低減方法の検討 ○関澤 春仁・丹治 克男 (福島農総セ)</p>	11:30
					11:45

第2日 3月30日(日) 9:00~10:30

時間	A会場 3A403 果樹Ⅰ	B会場 3A402 果樹Ⅱ	C会場 3A416 果樹Ⅲ	D会場 3A204 野菜Ⅰ	E会場 3A209 野菜Ⅱ
9:00	<p>カンキツ等 奥田 均</p> <p>果 013 近赤外域の放射と光合成有効放射との比によるハウスミカン葉面積指数(LAI)の推定 ○矢野 拓^{1,4}・松原 公明¹・森崎 章好^{2,3}・立花 浩司³・北野 雅治⁴(¹大分農林水研指セ,²九州大農,³大分農大,⁴九州大院生資環)</p>	<p>核果類 松本 省吾</p> <p>果 035 ウメ '南高'における栽培土壌の違いが梅酒の香り,苦みおよび機能性成分に及ぼす影響 ○大江 孝明^{1,2}・岡室 美絵子¹・櫻井直樹²・土田 靖久¹・山崎 哲弘³・奥井 弥生⁴・石原 紀恵³・城村 徳明¹(¹和歌山果樹試うめ研,²広島大院生園研究科,³キリンビール(株),⁴メルシャン(株))</p>		<p>栽培・生理(トマト等) 大石 直記</p> <p>野 012 LED補光がトマトとキュウリの乾物分配に及ぼす影響 ○彦坂 晶子・榊木 菜穂美・鈴木 友理・藤野 浩気・後藤 英司(千葉大院園芸学研究所)</p>	<p>育種・品種特性(ウリ科等) 小原 隆由</p> <p>野 033 単為結果性ナス品種候補ナス安濃交9号の育成 ○齊藤 猛雄・松永 啓・斎藤 新・吉田 建実(農研機構野菜茶研)</p>
9:15	<p>果 014 カンキツの二次生理落果における離脱部位の組織学的調査 ○李 曦¹・北島 宣¹・片岡 圭子¹・友廣 道教²・文室 政彦²・中崎 鉄也¹(¹京都大院農学研究科附属農場,²近畿大附属農場)</p>	<p>果 036 ウメ '南高'における光条件の違いが梅酒の香り,苦みおよび機能性成分に及ぼす影響 大江 孝明^{1,2}・北村 祐人¹・岡室 美絵子¹・櫻井直樹²・土田 靖久¹・山崎 哲弘³・奥井 弥生⁴・石原 紀恵³・城村 徳明¹(¹和歌山果樹試うめ研,²広島大院生園研究科,³キリンビール(株),⁴メルシャン(株))</p>		<p>野 013 トマト1段密植栽培における緑色光の群落内補光が生育および収量に及ぼす影響 ○三浦 美都紀(千葉大院園芸学部)</p>	<p>野 034 加工用カボチャ新品種 'くりひかり' 杉山 慶太¹・嘉見 大助¹・室 崇人¹・渡邊 春彦²・勝又 雅彦²(¹農研機構北海道農研,²(株)渡辺採種場)</p>
9:30	<p>果 015 クロロフィル蛍光分析による数種類のパッションフルーツの高温ストレス評価 ○島田 温史・久保 達也・富永 茂人・山本 雅史(鹿児島大院農学部)</p>	<p>果 037 モモの樹体ジョイント仕立てと開心自然形整枝における樹体生育,果実生産および栽培管理労力の比較 ○浜名 洋司・須川 瞬・平尾 晃(広島総研農技セ)</p>		<p>野 014 トマト一段密植栽培における台木の違いが養分吸収および収量に及ぼす影響 ○栗原 弘樹(千葉大院園芸学部)</p>	<p>野 035 メロン退緑黄化病抵抗性の遺伝解析 ○川頭 洋一¹・杉山 充啓¹・下村 晃一郎¹・大和 陽一²・前田 昭一²・上田 重文³・奥田 しおり⁴・奥田 充⁵(¹農研機構野菜茶研,²農研機構九沖農研,³農研機構北海道農研,⁴国立環境研,⁵農研機構中央農研)</p>
9:45	<p>果 016 キウイフルーツ'レインボーレッド'における樹上での果実品質の変化及び追熟関連遺伝子の発現 ○村上 寛¹・生駒 吉識²・矢野 昌充³(¹静岡農技研果樹研セ,²農研機構果樹研,³果樹試験研究推進協議会)</p>	<p>果 038 Prunus trilobaの繁殖特性と自家不和合性の原因 ○小林 美沙希¹・山根 健治²(¹宇都宮大院農学研究科,²宇都宮大学農学部)</p>		<p>野 015 ナス科異種間多段接ぎ木がナスの生育および収量に及ぼす影響(第2報)穂木品種の影響と土壌病害抑制効果 ○濱登 尚徳^{1,2}・佐藤 秀明¹・棚橋 忠¹・葛西 正則¹(¹新潟農総研園研セ,²新潟大院自然科学研究科)</p>	<p>野 036 ネギにおける蛹化率を指標としたネギハモグリバエ抵抗性のQTL解析 ○山下 謙一郎・塚崎 光・武田 光能・河合 章・若生 忠幸(農研機構野菜茶研)</p>
10:00	<p>リンゴ 1 伴野 潔</p> <p>果 017 平棚栽培リンゴ園における収量と果実品質の経年変化—植付け2年目~9年目— ○伊藤 大雄・蒔苗 勝也・相馬 洋一(弘大院農学生命科学部)</p>	<p>カキ 池上 秀利</p> <p>果 039 細胞膜の劣化がカキ果実のエチレン生成誘導に及ぼす影響 ○川口 浩¹・中務 明²・江角 智也²・板村 裕之²(¹高根大院生物資源科学研究科,²島根大生物資源科学部)</p>		<p>環境制御 1 宮本 雅章</p> <p>野 016 数値流体力学モデルによるパッドアンドファン型植物工場内の気流解析 ○東海林 孝幸¹・月山 拓¹・熊崎 忠²(¹豊橋技科大環境・生命工学系,²豊橋技科大先端農業・バイオリサーチセ)</p>	<p>遺伝子解析(トマト) 有泉 亨</p> <p>野 037 早期退緑を示す ghost white 突然変異体のトランスクリプトーム,プロテオーム解析 近藤 敬典・○本橋 令子(静岡大院農学研究科)</p>
10:15	<p>果 018 リンゴにおける樹体ジョイント仕立てによる平棚栽培の収量性と作業性 ○小川 秀和・船橋 徹郎・福田 勉・橋本 克樹・小松 宏光(長野果樹試)</p>	<p>果 040 カキ '富有'の果実肥大と夏秋季の気温低下との関係 新川 猛¹・○鈴木 哲也¹・尾関 健²・西垣 孝³(¹岐阜農技セ,²岐阜県農業経営課,³岐阜県加茂農林事務所)</p>		<p>野 017 パッドアンドファン型植物工場内における気流計測 ○下村 徳仁¹・東海林 孝幸¹・熊崎 忠²(¹豊橋技科大環境・生命工学系,²豊橋技科大先端農業・バイオリサーチセ)</p>	<p>野 038 トマト果実成熟過程におけるリポカリンたんぱく質(TIL1, TIL2, および CHL)の役割 ○橋本 亮介・Anung, Wahyudi・本橋 令子(静岡大院農学研究科)</p>

第2日 3月30日(日) 9:00~10:30

F会場 3A203 野菜 III	G会場 3A207 野菜 IV	H会場 3A304 花き I	I会場 3A312 花き II	K会場 3A202 利用 I	時間
<p>栽培・生理(イチゴ) 森 利樹</p> <p>野 056 灌水への海水添加がイチゴの収量および果実品質に及ぼす影響 ○大鷲 高志・加藤 春男・村主 栄一(宮城農園総研)</p>	<p>栽培(アスパラガス) 2 池内 隆夫</p> <p>野 076 寒冷地のアスパラガス長期どり栽培における収量性の雌雄間差 ○酒井 浩見¹・菅野 明²・元木 悟³・塩川 正則¹(¹長野野菜花き試,²東北大院生命科学研究所,³明治大農学部)</p>	<p>栽培、発育生理(ランタンキュラス) 仲照史</p> <p>花 011 温度がランタンキュラス球根の萌芽に及ぼす影響 ○中村 薫・永友 佑樹・郡司 定雄(宮崎総農試)</p>	<p>遺伝子解析 間 竜太郎</p> <p>花 026 トレニアの易変性系統「雀斑」における新規変異の原因遺伝子の同定法 ○西島 隆明^{1,2}・仁木 智哉^{1,2}(¹農研機構花き研,²筑波大院生命環境科学研究科)</p>	<p>機能性成分・資源利用 鈴木 康生</p> <p>利 012 トマト果実中に含まれる機能性成分セロトニン含量の解析 ○今西 俊介¹・松田 彩乃¹・麻生 久²・金山 喜則²・松尾 哲¹(¹農研機構野菜茶研,²東北大院農学研究所)</p>	9:00
<p>野 057 LEDの光質が一季成り性イチゴの収量および果実品質に及ぼす影響 ○宮本 昇(千葉大園芸学部)</p>	<p>野 077 ホワイトアスパラガス栽培のジヤクモン酸メチル処理が若莖の収量および硬度に及ぼす影響 ○地子 立¹・前田 智雄²(¹北海道総研機構上川農試,²弘前大農学生命科学部)</p>	<p>花 012 温度がランタンキュラス乾燥球根の吸水に及ぼす影響 ○中村 薫・永友 佑樹・郡司 定雄(宮崎総農試)</p>	<p>花 027 VIGS システムによるコオニユリの葉および花の色の改変 ○田崎 啓介¹・寺田 寛之²・増田 祝¹・山岸 真澄¹(¹北海道大院農学研究院,²北海道大院農学院)</p>	<p>利 013 アーバスキュラー菌根菌とそのパートナー細菌がゴマの生育に及ぼす影響 ○堀井 幸江・松原 智子・社納 葵・石井 孝昭(京都府大院生命環境科学研究科)</p>	9:15
<p>野 058 四季成り性イチゴのなつあかり¹における長日処理の違いが生育および収量に及ぼす影響 ○伊藤 篤史¹・庭田 英子¹・岩瀬 利己¹・渋谷 恵美子²・佐藤 祐子²・木下 均³・木下 貴之³(¹青森産技七野菜研,²青森県中南部地域農普及室,³青森県三八地域農普及室)</p>	<p>野 078 アスパラガスの連作障害圃場の根域・根圏土壌の無機成分の分析 ○嶋山 茂¹・本村 勇貴¹・篠田 光江²・原口 智和¹・藤井 義晴³・駒井 史訓¹(¹佐賀大院農学研究所,²秋田農試,³東京農工大農学研究所)</p>	<p>花 013 ランタンキュラス塊根の発達および萌芽の過程における植物ホルモンの消長 ○竹内 小百合¹・西島 隆明²・村上 恭子¹(¹香川農試,²農研機構花き研)</p>	<p>花 028 カーネーションのゲノム解読 ○八木 雅史¹・小杉 俊一²・平川 英樹²・大宮 あけみ²・棚瀬 幸司¹・原田 太郎¹・岸本 久太郎¹・中山 真義¹・市村 一雄¹・小野崎 隆¹・山口 博康¹・佐々木 伸大³・宮原 平³・西崎 雄三³・小関 良宏³・中村 典子⁴・鈴木 孝征^{5,6}・田中 良和⁴・佐藤 修正²・白澤 健太²・磯部 祥子²・宮村 佳典²・渡辺 安希子²・中山しのぶ²・岸田 佳恵²・小原 光代²・田畑 哲之²(¹農研機構花き研,²かずさ DNA 研,³東京農工大,⁴サントリー,⁵名古屋大,⁶JST)</p>	<p>利 014 利島におけるツバキ搾油かすの堆肥化条件 ○坂本 浩介¹・三田 一也²・清水 恵介³・柴田 敦史⁴・岡野 良夫⁵・南 晴文¹・松浦 里江¹・金牧 彩¹・嶋田 竜太郎²・河野 與一郎¹(¹東京農総研セ,²東京島しょ七大島,³利島村榨油製油セ,⁴JA 東京島しょ利島,⁵東京家保セ)</p>	9:30
<p>野 059 促成栽培イチゴの長日処理に関する研究 2.光源の種類、光色と点灯方法による処理効果の差異 ○吉田 裕一^{1,4}・大熊 啓太²・吉田 健太³・後藤 丹十郎¹・田中 義行¹(¹岡山大院環境生命科学研究所,²岡山農学部,³京都大院理学研究科,⁴(有)のぞみふぁーむ)</p>	<p>栽培(葉菜類) 浜本 浩</p> <p>野 079 岩手県での冬キャベツ栽培における収量と品質の品種比較 ○村山 徹(農研機構東北農研)</p>	<p>病虫害・生理障害 松下 陽介</p> <p>花 014 RNA 抽出方法がランタンキュラスのウイルス検出感度に及ぼす影響 ○村上 恭子・竹内 小百合・相澤 美里(香川農試)</p>	<p>花 029 キクタクニギク CsGI 過剰発現体の花成抑制形質の解析 ○小田 篤・樋口 洋平・久松 完(農研機構花き研)</p>	<p>非破壊評価・貯蔵性 加藤 雅也</p> <p>利 015 1-MCP 処理によるカキ「西条」の貯蔵性向上と果実品質の推移 ○大畑 和也^{1,2}・山根 一佳¹・中尾 知樹³・永田 善明⁴・櫻井 直樹⁵・坂村 裕之⁶(¹鳥根農技セ,²鳥取大院連合農学研究所,³鳥根県庁,⁴鳥根産技セ,⁵広島大院生物園,⁶鳥根大生物資源科学部)</p>	9:45
<p>野 060 長日処理が一季成り性イチゴ促成栽培の開花期と生育に及ぼす影響 ○井口 工(香川農試)</p>	<p>野 080 有機肥料の施用量およびマルチ資材がケール新品種「ハイパール」の収量および品質に及ぼす影響 ○杉山 大地¹・春日 重光¹・芹澤 啓明²(¹信州大農学部 AFC,²長野野菜花き試)</p>	<p>花 015 ニホンズイセン (<i>Narcissus tazetta</i> var. <i>chinesis</i>) のウイルス検定方法及びウイルスフリー球根生産技術の確立 第3報 栽培圃場土壌中のNDV, NLV, およびNYSVの分布 ○大城 関¹・河井 宏介¹・松尾 尚明¹・井村 亮介¹・五島 好美¹・林 恵美子^{2*}(¹福井県大生物資源学部,²福井園試,³福井県農林水産部)</p>	<p>育種・品種特性 大宮 あけみ</p> <p>花 030 キクを種子からつくる ○谷口 研至・中野 道治・草場 信(広島大・院・理)</p>	<p>利 016 1-MCP ポストハーベスト処理を利用した夏秋どりイチゴ果実の鮮度保持 ○島岡 亮介¹・成定 希¹・志村 華子¹・榎原 啓高²(¹北海道大院農,²Rohm & Haas Japan Inc.)</p>	10:00
<p>遺伝・育種等(イチゴ) 吉田 裕一</p> <p>野 061 栽培イチゴの花芽分化は野生イチゴとは異なり FaITL1 ではなく、FaITL2 によって制御される ○中嶋 竜一¹・山田 邦夫²・太田 垣駿吾¹・白武 勝裕¹・松本 省吾¹(¹名古屋大院生命科学研究所,²中部大応用生物学部)</p>	<p>野 081 結球性レタスの夏秋期栽培における生育特性の解析 ○柳井 洋介¹・福田 真知子¹・伊藤 瑞穂²・関 功介³・岡田 邦彦¹(¹農研機構野菜茶研,²茨城農総セ園研,³長野野菜花き試)</p>	<p>花 016 カーネーション栽培におけるUV-Bの照射方法及びナミハダニの発生消長 ○大澤 健治¹・大島 洋一¹・小川 瞬¹・豊嶋 悟郎²・桑澤 久仁厚¹・由井 秀紀³・宮本 賢二²・田中 典子⁴・中島 由郎¹・石渡 正紀⁵・山田 真²・安藤 忠幸⁶・佐藤 憲二郎⁶・久松 完⁷(¹長野野菜花試,²長野農業技術課,³長野野菜花試佐久支場,⁴長野農改普セ,⁵バナソニック(株),⁶上伊那農改普セ,⁷農研機構花き研)</p>	<p>花 031 欧米交雑ポタンの品種育成の歴史 ○細木 高志(島根大生物資源科学部)</p>	<p>利 017 Evaluation of ripeness by a non-destructive acoustic method in kiwifruit ripened with postharvest propylene treatment or on-vine ○Asiche, William Olubero¹・日下部 祐貴²・笠原 有加²・牛島 幸一郎^{1,2}・中野 龍平^{1,2}・櫻井 直樹³・久保 康隆¹(¹岡山大院環境生命科学研究所,²岡山農学部,³広島大院生物園科学研究科)</p>	10:15

第2日 3月30日(日) 10:30～12:00

時間	A会場 3A403 果樹Ⅰ	B会場 3A402 果樹Ⅱ	C会場 3A416 果樹Ⅲ	D会場 3A204 野菜Ⅰ	E会場 3A209 野菜Ⅱ
10:30	<p>リンゴ 2 本多 親子</p> <p>果 019 赤果肉リンゴ品種 ‘ハニールージュ’ の果肉着色程度に及ぼす要因 ○伴野 潔・高橋 純司・森本 拓也 (信州大農学部)</p>	<p>果 041 カキ「前川次郎」におけるジベレリンとエテホンを利用した新省力摘果技術の開発 ○後藤 雅之・三井 友宏・伊藤 寿 (三重農研地域連携研究課)</p>		<p>野 018 トマト群落内の二酸化炭素濃度分布を把握するための測定法の検討 ○池内 裕弥¹・熊崎 忠²・東海林 孝幸¹ (1 豊橋技科大環境・生命工学系, 2 豊橋技科大学先端農業・バイオリサーチセ)</p>	<p>野 039 トマトにおけるポリオールとアルドース-6-リン酸還元酵素の解析 ○勝又 淳司・大島 健介・西山 学・金濱 耕基・金山 喜則 (東北大院農学研究科)</p>
10:45	<p>果 020 リンゴ果肉培養における外与ソルビトールを基質とするショ糖生成反応のゼアチンによる阻害 ○上條 和明・志村 華子・鈴木 卓 (北海道大院農学院)</p>	<p>ビワ等 近藤 悟</p> <p>果 042 ビワ根浸出物の分子量画分がビワ苗木の生育に及ぼす影響 ○島木 康徳¹・家寿多 正樹²・赤山 喜一郎¹ (1 千葉農林総研セ暖地園研, 2 千葉農林総研セ)</p>		<p>環境制御 2 東海林 孝幸</p> <p>野 019 次世代型施設園芸で活用できる無線温湿度・照度センサーの開発 ○鈴木 賢¹・磯崎 真英¹・小西 信幸¹・太田 雄也¹・川北 友博²・亀岡 孝治³・橋本 篤³・加藤 雅樹⁴・高平 俊一⁴ (1 三重農研, 2 テトセ工業(株), 3 三重大院生物資源学研究所, 4 (株)構造計画研究所)</p>	<p>野 040 トマトの染色体断片置換系統における尻腐れ果の発生抑制機構に関する研究 ○池田 裕樹・金浜 耕基・金山 喜則 (東北大院農学研究科)</p>
11:00	<p>果 021 リンゴの休眠特性の解析と二期咲きの可能性 ○小森 貞男¹・工藤 静香¹・高岸 香里¹・菊地 秀喜²・阿部 和幸³・渡邊 学⁴・村上 政伸⁴・壽松 木章¹ (1 岩手大農学部, 2 宮城農園総研, 3 農研機構果樹研, 4 岩手大農学部寒冷フィールドサイエンス教育研セ)</p>	<p>果 043 ビワの寒害発生気温の品種間差と幼果の耐凍性を基準とした栽培適地について ○杉浦 俊彦¹・裨圃 直史²・島木 康徳³・豊嶋 貴司⁴・中村 一英⁵ (1 農研機構果樹研, 2 長崎農技セ果樹, 3 千葉農林総研セ暖地園研, 4 香川農試府中果樹研, 5 鹿児島農開総セ)</p>		<p>野 020 抑制トマト栽培における屋根散水が果実品質および施設環境に及ぼす影響 ○瀬山 祥平・小泉 丈晴 (群馬農技セ)</p>	<p>遺伝子解析・着果生理 (トマト) 本橋 令子</p> <p>野 041 ‘Severianin’ に由来するトマト単為結果性 pat-2 の遺伝様式の解析 ○大川 浩司・福田 至朗・大藪 哲也 (愛知農総試)</p>
11:15	<p>ブルーベリー 渡邊 学</p> <p>果 022 ブルーベリーの SSR マーカーを用いたスノキ属 22 種のカテゴリー ○宮下 千枝子^{1,4}・井上 栄一²・櫛川 聡³・山田 哲也³・荻原 勲⁴ (1 東京農総研, 2 茨城大農学部, 3 群馬農技セ, 4 東京農工大院連合農学研究科)</p>	<p>果 044 ブドウの凍霜害発生危険度予測モデル ○佐久間 宣昭¹・斎藤 祐一²・永山 宏一³ (1 福島農総セ農短大, 2 福島農総セ果樹研, 3 福島県果樹農林)</p>		<p>野 021 ミスト状噴霧チューブによる施設冷却および害虫の移動抑制効果 ○宮本 雅章¹・村永 順一郎^{1,2}・木村 愛実¹・瀬山 祥平¹・小泉 丈晴¹ (1 群馬農技セ, 2 群馬県重永園芸課)</p>	<p>野 042 トマトにおけるエチレン非感受性変異体が示す単為結果性の解析 ○篠崎 良仁・羽尾 周平・江面 浩・有泉 亨 (筑波大院生命環境科学研究所)</p>
11:30	<p>果 023 千葉県におけるブルーベリー数品種の果実の成熟と品質特性 ○北口 美代子¹・清原 玲子^{1,2} (1 千葉農林総研セ, 2 千葉長生農事務所)</p>	<p>果 045 イチジクの時期別収穫量子測と精度 ○姫野 修一¹・野方 仁²・井上 義章¹ (1 福岡農総試前分場, 2 福岡病害虫防除所)</p>			<p>野 043 トマト AP3 遺伝子抑制系統における単為結果果実の形成 ○山岡 達也¹・岡部 佳弘²・牛島 幸一郎¹・有泉 亨²・荒木 克也¹・久保 康隆¹・江面 浩²・中野 龍平¹ (1 岡山大院環境生命科学研究所, 2 筑波大院生命環境科学研究所)</p>
11:45	<p>果 024 果実重、収穫期、成熟段階、および吸水経路がラビットアイブルーベリー ‘Titblue’ の裂果に及ぼす影響 ○馬場 隆士・長谷川 莉代・伴 琢也 (東京農工大農学部)</p>				<p>野 044 心皮数を増加させるトマト変異体の解析 ○羽尾 周平・有泉 亨・江面 浩 (筑波大院生命環境科学研究所)</p>

第2日 3月30日(日) 10:30～12:00

F会場 3A203 野菜 III	G会場 3A207 野菜 IV	H会場 3A304 花き I	I会場 3A312 花き II	K会場 3A202 利用 I	時間
<p>野 062 イチゴヘタ離れ形質 DNA マーカーの開発 ○阿部 竜也・高橋 徹 (東洋 食品研究所)</p>	<p>野 082 牛蒡堆肥発酵熱を利用したチ コリ (Cichorium intybus L. var. Vintor) 伏込栽培の可能性 ○熊野 貴宏¹・山川 梨奈¹・ 横田 富男²・荒木 肇³ (¹北海道大院環境科学院, ²ヨコタ設備(株),³北海 道大北方生物圏フィールド 科学セ)</p>	<p>花 017 輪ギクの生理障害「虎葉症」 (通称)の発生と発症に関わ る諸要因 ○村崎 聡・沼田 慎一・小川 孝之・白井 謙一 (茨城農総 セ鹿島地帯特産指導所)</p>	<p>花 032 3 倍体オニユリと 2 倍体オコ ニユリの交雑に由来する F1 個体の諸形質と染色体数 ○鈴木 雄大¹・山岸 真澄² (¹北海道大農学部,²北海道 大院農学研究院)</p>	<p>利 018 収穫時期の違いがレモンの果 実形質および貯蔵性に及ぼす 影響 ○赤阪 信二・軸丸 祥大・塩 田 俊・金好 純子・中元 勝彦 (広島総研農技セ)</p>	10:30
<p>野 063 イチゴ分離集団を用いた種子 発芽に関する遺伝的解析 ○掛田 克行¹・橋本 和紀¹・ 丹羽 弘光¹・磯部 祥子²・ 橋爪 不二夫³・北村 八祥³・ 森利樹³ (¹三重大院生物資 源学研究所,²かずさ DNA 研,³三重農研)</p>	<p>栽培・生理 (その他) 荒木 肇 野 083 実エンドウにおける着果負担 と栽培温度および施肥量が葉 色および着莢に及ぼす影響 ○川西 孝秀・松本 比呂起・ 小谷 真主・楠 茂樹 (和歌山 農試暖地園セ)</p>		<p>組織培養・繁殖 星野 洋一郎 花 033 ユリの 3 n 細胞作出の基礎と なる雄原細胞の単離 ○岡田 佳奈子¹・森永 健太²・ 佐藤 美樹²・本多 健作¹・ 駒井 史朗^{1,2} (¹佐賀大院農 学研究所,²佐賀大農アグリ センター)</p>	<p>追熟・品質変化 櫻井 直樹 利 019 フィリピン産バナナ ‘パナッ プル’ の追熟特性 ○大西 千尋・野村 啓一・ 鈴木 康生 (神戸大院農学研 究科)</p>	10:45
<p>野 064 イチゴ ‘かおり野’ における 種孳き果発生要因の検討 ○小堀 純奈・森利樹・北 村 八祥 (三重農研)</p>	<p>野 084 冷蔵球根および水耕栽培を利 用したギョウジャニンニク夏 秋季生産の試み ○金子 琢哉¹・松岡 郁子¹・ 高畑 能久²・森松 文毅²・ 山口 敏樹³・宮本 有也³・ 杉山 慶太⁴・鈴木 卓¹ (¹北海道大院農学院,²日本 ハム(株),³(株)アド・ ワン・ファーム,⁴農研機構 北海道農研)</p>		<p>花 034 難貯蔵性ラン科種子の好適貯 蔵条件の検討 ○三吉 一光¹・山崎 旬²・ 遊川 知久³・神戸 敏成⁴ (¹千葉大院園芸学研究所, ²玉川大農,³科博筑波実験 植物園,⁴富山中央植物園)</p>	<p>利 020 エダマメ ‘ふくら’, ‘湯あがり 娘’ の生育と品質の関係, 収穫適期の評価 ○水野 寛士¹・橋本 早紀¹・ 田中 仁奈¹・山本 達也¹・ 中野 龍平²・牛島 幸一郎²・ 久保 康隆² (¹味の素冷凍食 品(株) 研開セ,²岡山大院 環境生命科学研究所)</p>	11:00
	<p>野 085 ツルナ の生育特性および取 量性 ○山際 豊・杉山 泰昭 (静岡 農林技研伊豆農研セ)</p>		<p>花 035 難発根性花木 3 品目における 穂木殺菌処理と温度が挿し木 発根に及ぼす影響 ○井樋 昭宏・栗山 拓郎 (福 岡農総試果樹苗木分場)</p>	<p>利 021 ダイコン青変症の発症とアス コルビン酸代謝の関係 ○永田 雅靖¹・寺西 克倫²・ 増田 大祐³・池下 洋一⁴・ 増田 義彦⁵ (¹農研機構野菜 茶研,²三重大院生物資源学 研究所,³石川農林総研セ, ⁴石川農林事務所,⁵神奈川 農技セ)</p>	11:15
	<p>野 086 被覆処理と垂下処理がヤマノ イモ属のムカゴ形成・肥大に 及ぼす影響 ○佐藤 謙一¹・居城 幸夫²・ 常盤 三男³ (¹宇都宮大院農 学研究所,²宇都宮大農学部 附属農場,³カクヤス商販 (株))</p>		<p>花 036 広義キク属の超低温保存法の 開発 ○田中 大介¹・加藤 愛¹・ 草場 信²・新野 孝男³・松 本 敏一^{1,4} (¹基生研 IBBP センター,²広島大院理学研 究科,³筑波大遺伝子実験セ ンター,⁴島根大生物資源科 学部)</p>		11:30
					11:45